

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社					
代表者名	氏名	佐藤 敏彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	埼玉県所沢市大字下富 8 4 0 番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 2 その他の製造業				
主たる事業の概要	腕時計及びその部分品製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,999	4,464	4,576		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,092	9,014	9,235		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	1340		1269		
自動車の台数	台	23		23		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	70		89		

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 29 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://cwmi.citizen.co.jp/company/environment.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

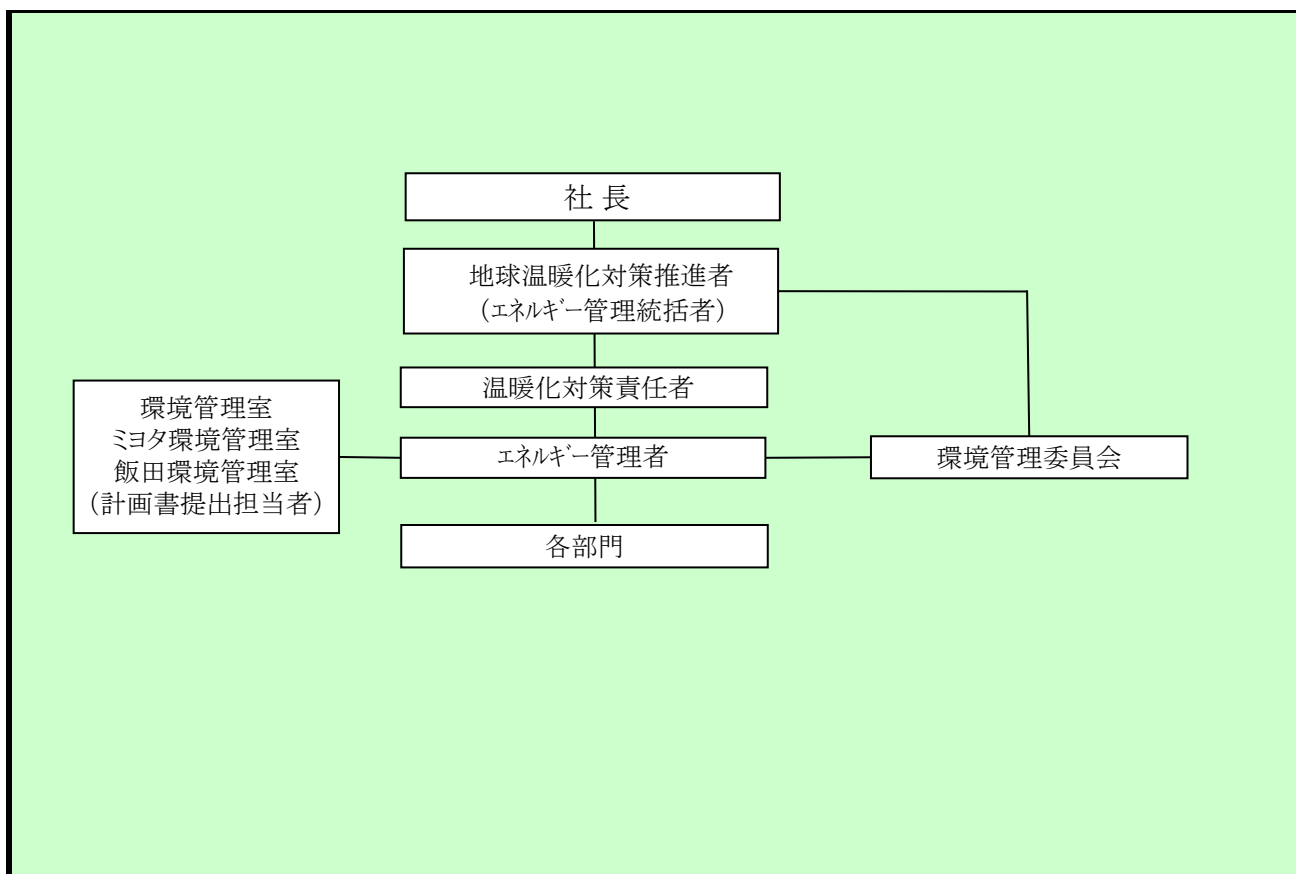
【環境基本方針】

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社は、「市民に愛され市民に貢献する」という企業理念に基づき、世界の人々と地球環境に配慮した事業活動を通じて人々が心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会に貢献します。

【環境行動指標】

3) 工場、オフィスでの省エネルギー、省資源、資源循環、化学物質の適正管理を推進し、地球温暖化防止及び循環型社会の実現に貢献します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・ 飯田工場 環境委員会 (1回/月)
- ・ ミヨタ佐久 環境管理委員会 (1回/月)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,092	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	6,052	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	9,014	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	(47.97)	%	目標削減率	20.00	%		20.0
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減に向けて年度で環境目標を策定し、その達成に向けて工場及び部門での取組を進める。取組の内容は、従前の取組に加え、省エネタイプの空調機器などの更新その他を推進する。 平成28年10月より新工場（ミヨタ佐久）が稼働を始めた事により、基準排出量、目標排出量、原単位（寄与度の合計）を変更しました。 						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。	
第一年度	排出量	9,235	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	9,159	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(51.60)	%	削減率		%		28.6
排出量等の増減理由	変圧器の高効率化（老朽更新）、コンプレッサーのインバーター機導入、空調の高効率化への老朽更新、照明のLED化（総括票8の措置）による理由と生産調整等による理由（飯田工場） 生産効率の向上により原単位の改善（ミヨタ佐久工場）							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,340	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	1,269	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	5.29	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	70	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	89	t-CO ₂	削減率	-27.15	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699 年式の古い高圧変圧器を高効率変圧器へ順次更新する。(飯田工場)	29~31	45	29	17
2	エネ起	360799 コンプレッサーを更新時、インバーター式に変更する。(飯田工場)	29~31	30	29	10
3	エネ起	330299 空調機を順次更新(飯田工場)	29~31	200	29	30
4	エネ起	380752 天井照明のLED化(飯田工場)	29~31	15	29	19
5	エネ起	380701 照明設備の不要時消灯の徹底(ミヨタ佐久工場)	30~31			
6	エネ起	330201 空調について、共用場所(廊下、食堂、更衣室)の集中管理化(ミヨタ佐久工場)	30~31			
7	エネ起	330201 空調の休日運転の間引き又は停止(ミヨタ佐久工場)	30~31			
8	エネ起	360703 圧縮空気の不使用時、供給元栓閉止の徹底(ミヨタ佐久工場)	30~31			
9	エネ起	400201 暖房便座及び温水の度最小化(抑制メニューの「給湯設備効率管理」)(ミヨタ佐久工場)	30~31			
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書(熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	40		76		
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満			1	5,229				
1,500k1未満	4	6,092	2	4,006				
合計	4	6,092	3	9,235				

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	611	579		
N ₂ O	729	690		
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	1340	1269	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	15	15		
合計	15	15	0	0
自動車総数	23	23		
次世代車導入割合	65.2	65.2		

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	「南信州いいむす21」登録企業への支援と審査（飯田工場）
その他	地域ぐるみ環境ISO研究会への参加（飯田工場）

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	年間3回のノーマイカー運動推進（飯田工場）
公共交通機関の利用促進	出張の際の公共交通機関利用促進
来客者の交通対策	来訪者に対して公共交通機関の案内
物流の合理化	関連会社間運行トラックの効率化 出張時社用車利用の相乗り促進

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001（2015年版）	2017年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	・環境配慮型生産設備の開発・製造
第一年度実績	・環境配慮型生産設備の開発・製造 ・製造・敷地内、緑化管理。 ・夏季のクールビズの継続。
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	・照明器具のLED化（飯田工場）	265(飯田)
その他		